

## 木下 正 議員

### 放課後児童支援員等への

### 支援対策は

**問** 今後6年生まで受け入れ予定の放課後児童クラブにおける、人材確保の現状と今後の対策は。

**答** 役割や勤務年数に応じた手当を支給し、処遇改善をした。今後、運営の委託先と連携し、支援員の負担軽減や処遇改善を再検討し、人材確保を図りたい。

### 教職員への支援、市の対策は

**問** 新設予定の学力向上推進係の目標と計画は。

**答** 今まで指導主事教員に頼り、改善の施策などが弱かった。データ分析に基づく教育行政を進めるため、仕事の内容や方向性を変えた。全国学力・学習状況調査の全項目で全国正答率を上回ることを目標に、B問題(活用・応用)で結果を出していきたい。



袋井北コミュニティハウス第3 のびのび南クラブ

### エコパを活用した

### 茶業支援対策は

**問** スポーツ3大会時に、エコパから茶ピアへの誘客や体験イベント等への支援をすべきでは。

**答** エコパからのアクセスの検討、茶ピア内の外国語表記・通訳対応の支援、SNSを活用した情報発信の取り組み等、茶ピアの活性化に向けての新たな検討会の中でも、ラグビーワールドカップに向けて魅力を高めていきたい。

## 浅田 二郎 議員

### 犯罪のない

### 安全・安心のまちづくり

**問** 犯罪が全体として減少しているなか、特殊詐欺が増加傾向にある。「訴訟最終通告のお知らせ」などのハガキへの対応は。

**答** 市の消費生活センターへの相談は平成29年度60件と急増している。電話をかけず無視する、電話をかけた場合は金銭を支払わない、金銭を支払った場合は警察署に相談するよう案内している。

**問** 再犯率が48%と高い。再犯防止には、市の取り組みが重要だが。

**答** 平成28年末「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行された。協力雇用主に対する働きかけや市独自の雇用など、袋井地区保護司会などと協力し、今後の研究課題として取り組んでいきたい。



防犯意識を啓発する看板

### 資格ある人に生活保護を

**問** 「生活保護は恥」などの意識や生活保護へのバッシングなどで生活保護受給をためらう人もいるが。

**答** 生活保護は憲法や生活保護法に基づく国民の権利であると認識し、民生委員や関係機関等による周知、ホームページへの掲載、「生活保護のあらまし」のパンフレット作成など周知・説明を行っている。